



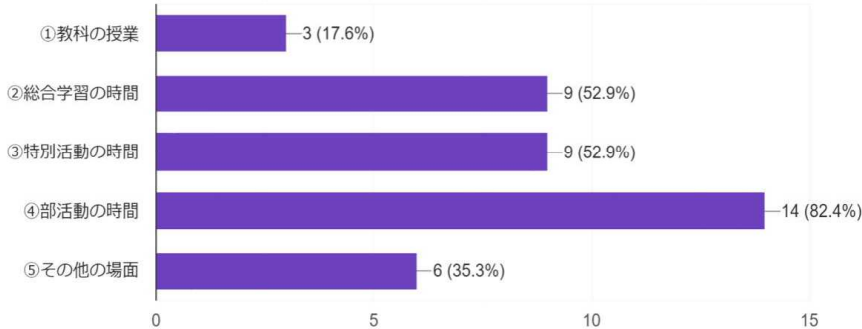
2025年2月18日 第9号

岩倉中学校地域連携C

今進めようとしている地域学校協働活動について、先生方にアンケート調査をし、17件の回答がありました。その中から、要望・思い・意見等をまとめました。CS・地域学校協働活動を実施していることが多くの先生方に理解されています。できることから少しずつ進めていきましょう。

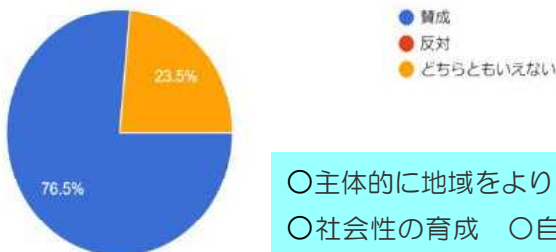
※ 今年度、新たに家庭科応援サークルを結成し、学習支援ボランティアとして、家庭科の実習授業に地域の方が入りました。

質問3-1 地域の方を学校へ入れる場面は次のどれがよいと思いますか？【複数可】  
17件の回答



- 部活指導を地域へという思い・要望は大変多いです。 → 現在、少しずつではあるが進行中
- 実習関係の教科授業へは、地域ボランティアが必要。 → 準備・片付けそして実習中の見守り
- 登下校指導 → 生徒の登下校における見守り
- 『負担』が増すことのないように進めたい。そうなるのは本末転倒。
- 教科の時間は削減できないので、特活・総合・学校行事の時間を活用することが現実的である。

質問4-1 岩中생을地域での活動に参加・参画させることについてどう思いますか？  
17件の回答



△教員が引率するとなると難しい。  
△生徒が望むかどうか  
△トラブルが起こるのが心配  
.....

- 主体的に地域をよりよくする意識が高まる
- 社会性の育成 ○自分の好きなこと、興味のあることに取り組める。
- 様々な経験を積みませ、地域への愛着を育てるため
- 様々な経験を積むことが大事 ○いずれはこの地区で生きていく
- 地域に支えられての岩倉中学校
- 地域の中で、自信がどう在るべきかを考察することができる。
- 中学生のうちに一歩でも社会を見て、視野を広く持ってほしい。
- 中学生も地域の一員であることを自覚するため

できることから  
少しずつ